「データ識別番号のリプレース機能」の操作手順

既に作成済みのFF1ファイル、EFファイル、Kファイルのデータ識別番号を 別のデータ識別番号に置き換える機能である。

インストール

1. https://nagasaki-sst.com/SST/Setup.exe



から「SELFサポートツール」の「Setup.exe」



▽ をダウンロードする。

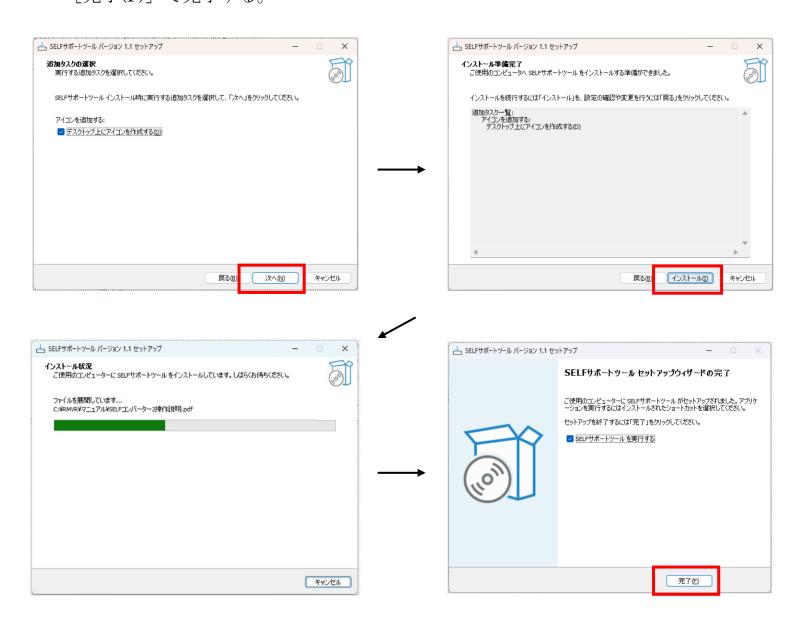
- 2. 「Setup.exe」 を実行する。。
- 3. 「はい] をクリックする。



4. ●同意する(A) に変更し、 [次へ(N)] をクリックする。



5. 順に [次へ(N)] → [インストール(I)] とクリックするとインストールが始まり、 [完了(F)] で完了する。



6. デスクトップにアイコンが作成され、「SELFサポートツール」が起動する。



リプレース操作手順

1. 変更前のデータ識別番号と変更後のデータ識別番号を定義したcsvファイルを用意する。



2. SELFサポートツール



を起動する。

3. [オプション] をクリックする。

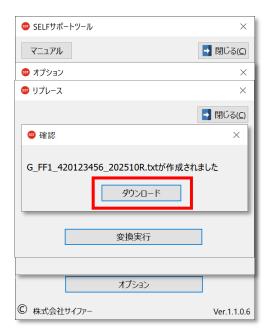


4. 「リプレース」を選択する。



- 5. ① [変換前ファイル選択] をクリックし、対象となるファイルを選択する。
 - ②「変換実行」をクリックする。
- 6. 変換後のファイルが作成されたら [ダウンロード] をクリックする。





7. 変換後のファイルがダウンロードされる。ファイル名は変換前ファイル+R.txt (例: $G_FF1_420123456_202510R.txt$) となる。



8. 変換後のファイルをメモ帳で開き、データ識別番号が正しく変換されていることを確認する。



エクセルで数字の頭に0をつけ、0詰め10桁とする方法

- ① データ識別番号の列を選択する。
- ②「Ctrl+1」で「セルの書式設定」を開く。
- ③ 分類(C): の「ユーザー定義」を選択する。
- ④ 種類(T): の欄に 000000000 (0を10個) 入力する。
- ⑤ [OK] をクリックする。
- ⑥ データ識別番号の列が0詰め10桁となる。

